

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 茨城県 】

1 実践テーマ	【 III 】
2 実施対象者	茨城県立常陸大宮高等学校 生徒204名 教職員60名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 ()</p> <p>② 行事名 (オリンピック・パラリンピック教育推進事業講演会)</p> <p>③ その他 ()</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ()</p> <p>② その他 ()</p>
4 目標 (ねらい)	<p>オリンピック・パラリンピック教育を実施することにより、本県のオリンピック・パラリンピックムーブメントの普及・推進を図るとともに、スポーツ機運の醸成を図り、生徒が生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。また、オリンピック・パラリンピック教育の実践事例について、広く学校現場に発信することにより、本県のオリンピック・パラリンピック教育の充実を図る。</p>
5 取組内容	<p>今回の講演会では、ロンドン・リオデジャネイロ両パラリンピック視覚障害者柔道の日本代表選手である半谷静香(はんが い しずか)選手、仲元歩美(なかもと あゆみ)コーチをお招きし、「自分の可能性を信じて～今出来ることを全力でやる～」というテーマで講演をして頂いた。</p> <p>(1) 講演および映像視聴</p> <p>視覚障害とは、生い立ち、オリンピックの選手村、ザンビア遠征について等、動画を交えながらお話をして頂いた。見え方としては、1m先がぼんやり見えると説明があり、動画の中では画面に顔を近づけながらブログを作成する様子が見られた。練習の中で「あとちょっと」という概念が理解しにくいので、その程度について仲元コーチと何度も話し合い、技を習得しているとお話があった。普段当たり前前に理解できることが、視覚障害があると難しいということに気づくことができた。</p> <p>講演会では、半谷選手からの質問に対しては拍手で反応をした。</p> <p>「Suica を持っている人」「スリーアギトスを知っている人」などの質問に拍手で答え、生徒たちは普段できない経験をすることができた。また、盲学校ではなく普通の小中学校に通ったことや、鍼灸師の資格を取得するために二度高校生を経験しているとのお話もあり、半谷選手から何事にも挑戦する姿勢を学ぶことができた。「他人になんと言われようと、自分の可能性</p>

を信じてあげられるのは自分だけ」という半谷選手の言葉が印象的で、生徒にも響いたようである。

(2) トレーニングや技の実演

実際に畳の上で前転、後転、倒立前転、倒立後転等のトレーニングを実演して頂いた。トレーニング中に方向が分からなくなってしまうので、周りのサポートが必要だということを仲元コーチのお話から知ることができた。また、代表生徒にアイマスクをして、2人組でランニング体験も行った。サポートする際に大切なのは、障害となるものを事前に伝えてあげることや手を繋ぐバンドを離さずに密着させて走ることだと説明があった。体験した生徒からは「普段当たり前に見えているものが見えないことが、どれだけ大変か実感することができた」との感想があった。



講演の様子



一本背負いの実演



アイマスクでのランニング体験



ランニング体験の感想発表

6 主な成果

生徒からは、「人よりハンデを持ちながらも、努力する姿がカッコいい」「身近に障害を持つ人を見かけたら、今回の講演を思い出して助けてあげたい」との感想があった。

また、常陸大宮市役所と連携し、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けた市の取り組みやパラオ共和国について、生徒に紹介する機会を設けたことで興味関心を高めることができた。



常陸大宮市がパラオ共和国のホストタウンということで、これまでの取り組みを掲示して紹介した。

<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>実際のトレーニング方法や柔道の技を実演するために、体育館に畳を準備した。生徒達が、日本を代表する選手の技を実際に見ることで、興味関心を高めることができる機会を設けた。また、常陸大宮市役所と連携し、地域の取り組みを知る機会を設けた。</p> <p>また、半谷選手がトレーニングの様子を紹介する中で、基礎的な体力や体幹が大切だとのお話があった。体力向上に向けて、効果的な練習ができるようラダーやメデシンボール、バランスクッション等のトレーニング用品を購入し、使用できる環境を整えた。本校の体力テストの結果は、県平均と比較すると低い状況にあるため、今後も引き続き体育の授業や部活動において積極的に活用し、体力向上を目指していきたい。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>8 主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイントや動画をプロジェクターに投影するにあたって、事前に電子媒体の受け取りをしておくべきだったと反省点が残った。当日の準備で時間がかかり、慌ただしくなってしまった。 ・講演の時間が足りず、後半は急ぐような形になってしまった。生徒や職員から「もう少し半谷選手と仲元コーチの話を聞きたかった」との声があったので、余裕を持った日程にすることが課題だと感じた。
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に選手の話聞き、技やトレーニングを間近で見たり体験したりすることで、生徒の興味関心を引きつけることが出来ることを感じた。機会があれば、今回の反省を踏まえて来年度以降も実施したい。 ・今回の講演で、オリンピック・パラリンピックや障害者スポーツに対する理解を深めることが出来た。今後も地域と連携するなど、取り組みを継続し、スポーツに対する興味関心を深めていきたい。